

「元気発進！子どもプラン（第3次計画）」【素案】に対する 大人からの意見（抜粋）

施策（1）母子保健の充実

市 民	2児の母だが、生後4ヶ月までの乳児家庭全戸訪問事業は、子育ての悩みについて周囲を気にせず聞け、また子どももみてもらえることがすごく良かった。
市	今後も、全戸訪問を継続し、お母さん方の心のケアや子育て支援に関する情報提供を行っていきます。

施策（3）乳児・幼児期の教育や保育の充実

市 民	保育士の不足が社会的問題になっているので、保育士の処遇改善のための仕組み作りが必要であると思う。
市	<p>保育士の確保は、待機児童の解消の観点からも、保育の質の維持向上の観点からも、不可欠であると考えています。北九州市では、子ども・子育て支援新制度における処遇改善等加算などにより、保育士の処遇改善を実施してきました。</p> <p>平成29年度からは、全ての保育士を対象として、2%相当の改善を行うとともに、技能・経験を積んだ保育士に月額4万円の上乗せなどを実施してきました。加えて、今年度からは、全ての保育士を対象に、さらに1%相当の改善を実施しています。</p> <p>また、本年10月からは、保育士の雇用確保を図るための新たな取組みとして、「保育士宿舍借り上げ支援事業」を実施しています。</p> <p>今後とも保育士の働きやすい環境づくりに努めます。</p> <p>あわせて、これまで、国基準を上回る保育士の配置、保育士等を対象とした専門の研修所の設置、第三者評価の実施など、北九州市独自の取組みによって、子どもの健康及び安全の確保など、保育の質の向上に努めています。</p> <p>なお、施設長や保育士等の資質向上のため、引き続き北九州市社会福祉研修所において研修を実施するとともに、研修内容の一層の充実を図ります。</p>

市民	病児保育の拡充をしてもらえると、子育て世代には助かる。
市	<p>保護者の仕事などの都合により、家庭での保育が困難な病気中の子ども及び病 気回復期にある子どもを一時的に預かる事業として、現在、市内12カ所で病児 保育事業を実施しています。</p> <p>また、「元気発進！子どもプラン（第3次計画）」では、14カ所まで増加させ ることとしています。</p>

施策（4）放課後児童の健全育成

市民	放課後児童クラブの魅力・資質の向上を目指す中、支援員の人材確保にも力を入 れて欲しい。
市	<p>放課後児童クラブは、いろんな家庭の子どもたちが貴重な時間を過ごす大事な 居場所であり、直接子どもと接する支援員のみなさんの力が不可欠です。</p> <p>引き続き、支援員に必要な知識等を習得するための研修を実施するなど、資質 向上に取り組むとともに、処遇改善など人材確保についても、国の動向等を踏ま えつつ、努力していきます。</p>

施策（5）地域における子どもの居場所づくり

市民	学校や家庭をベースとしながら、それ以外の「子どもの居場所」をたくさん作って ほしい。間口は広く、選択肢は多いほどいいと思う。
市	<p>子どもプラン第3次計画では、「地域における子どもの居場所づくり」を新た な施策として盛り込み、推進していくこととしています。</p> <p>すべての子どもが自然と足を向けることのできる、楽しく魅力ある居場所を地 域の中にできるだけたくさん生み出せるよう地域の人々の力を借りながら取り 組んでいきます。</p>

市民	公園の遊具が老朽化し、改修するのに多額の費用がかかり、将来公園から遊具がなくなるのではないかとされている。公園の遊具を減らさないでほしい。
市	公園の整備につきましては市民の皆様の意見を取り入れながら計画的に行っています。

市民	子ども食堂＝貧困というイメージがあるように思います。子どもだけでなく、少し疲れたお母さんやその他の大人も利用でき、元気になれるような場の雰囲気とネーミングの工夫をお願いします。
市	全国的に同様の課題があり、あえて子ども食堂という名で事業をしていないところもあります。各子ども食堂の名前は、各運営団体が命名しているので、行政が指導することはできませんが、子ども食堂ネットワーク北九州の名称は、今後検討してまいります。

施策（６）こころの教育、体験・学習機会の充実

市民	体験活動、特に自然に触れあって自分で行動を決定したり、危険を判断したり、植物・動物の命の大事さを知ることが出来るような機会があるといいと思う。子どもを支える側にも、その大切さと楽しさを知ってもらえる機会があるといい。
市	できるだけ多くの子どもたちへ体験活動の場を知っていただくため、市内の小学生へ夏と冬に体験情報冊子「キッズチャレンジ」を配布しています。 その他、NPO 法人と協働で外遊び（プレイパーク）を定期開催し、子どもはもちろん保護者にも外遊びの大切さを知っていただく事業を実施しています。

施策（9）児童虐待への対応（北九州市子どもを虐待から守る条例の推進）

市 民	虐待により幼い子どもが亡くなる事案が多発しており悲しいニュースが流れるたびに、こうなる前にどうにかできなかったと思う。未然防止のためにも、幼稚園、保育所、小学校等と児童相談所や近隣の住民、民生委員の連携が重要。子どもたちが、心身共に健康で成長できるよう、周囲にいる大人達が協力して子どもたちの成長を共に見守ることが大切ではないか。
市	児童虐待防止には、学校、保育所、幼稚園などの関係機関をはじめ、社会全体で取り組む必要があります。本市では、今年4月1日に「子どもを虐待から守る条例」を施行し、市民が一丸となって虐待のないまちづくりを推進することを決めました。今後とも、行政をはじめ、市民の皆さんとともに、児童虐待防止に鋭意取り組んでまいります。

施策（10）障害のある子どもや発達の気になる子どもへの支援

市 民	個人情報保護が先に立ち、保育園が必要な情報が得られにくく、対応が遅れることがある。障害について、社会資源が連携しやすいネットワークを作れないものか。
市	障害のある子どもの支援にあたっては、障害の種別・程度等に応じた細やかな対応を行うことが必要です。 引き続き障害のある子どもが地域社会の中で健やかに成長できるよう、保健・医療・福祉・教育などの関係機関と連携しながら支援に取り組みます。

施策（11）ひとり親家庭等への支援

市 民	経済的に困難な環境に生まれ育った子どもが、将来自立した生活が営めるように、教育の機会に差がないような支援を望む。
市	北九州市立の小中学校に就学する際は、経済的理由により子どもの学習が妨げられることのないよう、給食費や学用品等を支給する就学援助制度があります。 さらに、高校、大学への進学を希望する場合は、私立や国公立を問わず、無利子の北九州市奨学資金貸付制度があり、教育の機会均等に資する取り組みを行っています。

施策（12）子育てを応援する体制づくり

市 民	地域の子育て支援として、「シニア世代による子育て支援」は、子どもや保護者にとって頼りになるだけでなく、シニア世代にとっても介護予防になり、良いと思う。
市	現在、北九州市では、子育てサポーターなど、多くのシニア世代が子育て支援に関わっています。 こうした現状をもっと盛り上げて、「シニアが支える子育てのまち」となるよう取り組みを進めていきたいと考えています。

市 民	地域の子育てを支える人材として、青少年期の人たちにも参加してほしい。将来をイメージすることもできるし、支援される側、特に学童期の子ども達にとっては、大人よりもより感覚の近い人たちの支援が必要な場合もあると思う。
市	地域の子育てを支える人材として、青少年期の人たちの参加を促すことは、子どもにとって身近な存在との交流が生まれるとともに、青少年にとっても今後の人生を考えるきっかけになるなど、お互いにとって良い影響を生むことにつながるものと考えます。 既に、「青少年ボランティアステーション」では、親子ふれあいルームや子どもまつりなどへボランティアを派遣し、活動の場を提供しています。 このほか、一部の市民センターでは、その地域の青少年が子育て支援に深く関わる取り組みも行われています。 ボランティア派遣の呼びかけ、先進事例の紹介など、各地域の青少年人材の活用を促す効果的な方法を研究していきます。

施策（13）家庭の育児力・教育力の向上

市 民	お母さんが学べる場所が増えると、家庭教育の面で、子育てしやすいまちにつながると思う。
市	親などが家庭で子どもの教育をする心構えや子どもとの接し方、教育上の留意点など、家庭教育上の問題を勉強する家庭教育学級を市立幼稚園・小・中・特別支援学校・私立幼稚園・保育所で実施しています。 この家庭教育学級をより充実したものにしていきたいと考えています。

施策（14）子育てと仕事との両立に向けた環境づくり

市 民	共働き世帯が増えており、夫婦が協力しあって子育てをすることは、非常に重要であるが、依然として、家事や育児は女性に負担が大きくなりがちであり、早い段階から父親にも育児を自分のこととして積極的に関わってもらう必要がある。 子育て支援施設で、父親も参加しやすいよう、休日に両親と子ども、父親と子どもなどで参加できるプログラムがあればいいと思う。
市	夫婦で協力して出産・育児に取り組む大切さを学ぶため、両親学級を実施しています。区役所で実施している育児学級等は、父親も一緒に参加できます。 また、子育て支援施設（子育て交流ふれあいプラザ）内の子育て支援サロン“ぴあちえーれ”でも、年10回育児講座を開催しています。無料の託児所があり、両親で参加していただけます。 なお、区役所等に設置している親子ふれあいルームについては、父親や週末利用を希望する方へのサービス向上を図るため、対応可能な区の土曜日開所を進めていきます。

施策（15）子どもの安全を守る環境整備

市 民	夜になると街灯が少なく暗いため、犯罪が起きやすいのではないかと心配。死角のない明るい街づくりをお願いしたい。防犯カメラを設置してほしい。
市	<p>市民の暮らしの安全・安心に配慮し、道路空間の規定の明るさが保たれるよう努めていきます。</p> <p>地域団体が管理する防犯灯については、設置費用及び維持管理費用の一部を補助するとともに、市が通学路上の防犯灯を設置するなど、夜間の安全対策を行っています。</p> <p>また、道路上のカメラについては、プライバシー保護の観点から道路を維持管理する目的をもったものに限って設置しています。</p> <p>防犯の観点では、主要駅周辺に市が設置した防犯カメラの運用を続けており、地域団体や事業者が防犯カメラを設置する場合には、その設置費用の一部を補助しています。</p>